

寄稿

不安や苦しみを自分事として

小田原市長 加藤 憲一

連日、市内の医療・介護や地域経済を担う事業者の皆さんをお訪ねし、現場の状況を伺っています。抱える不安は深く、置かれた苦境は実に厳しいものがあります。

市民の診療要請に応えねばならず負担が増している医療現場、マスクやガウンなど防護資材の深刻な不足、「箱根」給食「夜の飲食」が止まり、売上そのものが消えてしまった飲食業、そこに納品する食品業界、かまぼこや木製品に代表される観光関連業種の未曾有の危機。人

件費や固定費を払えない経営者の苦しみ、雇用縮小や休職による収入の激減。家から出られず悪化が懸念される高齢者の健康外で思いきり遊べない子どもたち、働く保護者たちの不安……。

速に、かつ限られた財源を最大限有効に、特に厳しい状況の方々を支援していく責務があり、財政調整基金を取り崩し12億円の財源をひとます確保、感染症対策や経済対策などから着手しました。今後、休業中の子どもたちへの支援、高齢者の健康確保策、医師会や県と連携した発熱感染症外来の設置、長期化する場合の追加的経済対策などを視野に入れています。

苦境にある全ての皆さんに直ちに支援策を行き渡らせるのは、容易ではありません。そんな中、テイクアウト大作戦、手作りマスクのプレゼント、大量の石鹸の寄贈、子ども向けの映像教材作り等、市民の皆さんが不安や苦しみを自分事とし、知恵を出し合って共に困難を乗り越えようとする動きが活発化しています。心強く、ありがたいです。

一日も早く感染を終息させ、元気な日常を取り戻していきましょう！

# 加藤けんいち市長の これまでと、これから

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 小田原市はSDGs未来都市に認定されました！

# 歩みは、止めない。 ～あなたと拓く おだわらの未来～

1 「地域資源を活かした経済活性化の取り組み」  
(神静民報・ポスト広告・タウンニュースの連続掲載です)

3期12年、加藤市長は市民の皆さんと力を合わせて、「持続可能な地域社会」づくりを進めてきました。小田原の豊かな可能性は高い「市民力」「地域力」として花開き、課題解決に向けた多彩な「協働」が育っています。この紙面では、この間の実績と、次のステージでの取り組みを示します。歩みを止めることなく、「いつまでもみんなが笑顔で暮らせる、愛すべきふるさと」を創っていきましょう！

意見広告

お問合せ/  
「おだわらを拓く力」  
(加藤けんいち後援会)

TEL 0465-21-5260  
〒250-0011  
小田原市栄町2-13-1  
そびそ二宮ビル2F

## 3期目 (2016年5月～2020年4月)の主な取り組み実績

### 脱炭素型地域交通モデル

(電気自動車カーシェアリング) 開始



北条早雲公顕彰500年事業で  
プロジェクトマッピング世界大会

### SAMURAI 館・NINJA 館

の整備、住吉橋の架け替え

### オリーブの植樹拡大

初めての収穫祭開催



耕作放棄地解消や  
鳥獣害対策の推進

漁港の駅・TOTOCO小田原  
の開業



### ラグビーW杯での フラピーズ受け入れ



小田原産木材を使った  
小学校内装改修

### 市民ホール・ お城通り地区 再開発の着工



都市部からの移住希望者へ  
アプローチ強化

### かまぼこ通りの 活性化を推進・支援



### 歴史的建造物の公有化

(旧松本副吉邸、皆春荘、豊島邸)



## これから 取り組む主な施策

再生可能エネルギー地域自給 に向け  
モデル地域での実証事業にチャレンジ

徒歩生活圏の商店街再生 への研究  
(ウォークアブル・タウン)

旧関東学院大学法学部  
への大学機能誘致



耕作放棄地を利活用する  
新たな農産事業への支援

様々なタイプの 新規就農者への支援、  
有機農業の更なる推進

「おだわら森林ビジョン」策定にもとづく  
豊かで生産性の高い森づくり

老朽化した水産市場の再建に向けた  
検討本格化

各町に伝わる祭礼文化・芸能、山車・  
神輿の保存継承支援

ミナカ小田原の開業 (2020年秋～冬)、  
市民ホール のオープン (2021年9月)

国府津駅前整備 推進、  
小田原駅西口民間  
再開発の支援



各種スポーツ施設の維持修繕および改修、  
今後のあり方検討

### 健全化が進んだ市財政！

【借金 (各種債務の総額)】

H19年度 1492億円

H30年度 1082億円

▲410  
億円

【貯金 (財政調整基金)】

H19年度 15億円

H30年度 61億円

+46  
億円

## 【第4ステージの取り組み指針】

重点テーマと戦略的補強

1. 自然・環境  
小田原が誇る自然の力を高め、環境の魅力を磨きます。
2. 人づくり  
子どもからシニアまで、人の可能性を啓き、その力を大いに高めます。
3. 地域コミュニティ  
支え合い、共に生きる「自治の基盤」として、しっかり育てます。
4. いのち  
妊娠から介護まで、安心して暮らせる社会システム・制度を整えます。
5. 分かち合いの社会  
協働を進化させ、みんなが負担しみんなが受益する社会をめざします。
6. 観光、経済  
産業の力を高め、地域内経済循環を育て、関係人口を増やします。
7. まちづくり  
3大案件施設の効果を最大化し、民間開発事業をサポートします。
8. インフラ、公共施設  
インフラの長寿命化、公共施設の縮減・複合化・高機能化を進めます。
9. 自治体経営  
行政改革により地域経営力を強化し、広域連携を充実させます。

追加すべき5つのテーマ

1. 気候変動への取り組み
2. 災害への対応力強化
3. 地域の教育力強化
4. 健康づくりとスポーツ
5. 各種情報技術への対応

公式ホームページ



<https://www.katoken.info/>